

種苗等の生産・分譲状況

内水面水産振興部 荒木康男

【概 要】

2024年3月末日における各魚種の保有状況を表1に示す。マス類の種苗は、サクラマス、ドナルドソン系ニジマス(以下ドナルドソン)、ニジサクラを生産した。なお、サクラマスの大部分は、県内の河川にそ上した親魚から採卵したものである。令和5年度から、従来のニジマス系統の飼育を中止し、ドナルドソン系ニジマスのみとした。サクラマス、ドナルドソンは主にニジサクラ生産用親魚として育成した。なおニジサクラ100尾は試験研究用で、業者向けの種苗生産は行っていない。

温水魚はコイ、フナ、キンギョ(庄内金魚)を生産、保

有しており、試験、分譲、系統の保存用に供しているものである。

生産物分譲実績は表2のとおりである。ニジサクラでは、業者向けの種苗生産のため、発眼卵を公益財団法人山形県水産振興協会に分譲した。

コイの分譲先は主に県内の養鯉業者である。県内の養鯉業者は、東日本大震災前は宮城県の養鯉業者から種苗を入手していたが、震災後に種苗の入手が困難になった。そこで業界の要望により、当研究所で種苗生産を実施している。

表1 2023年度末日(2024年3月31日現在)の、当研究所における各魚種の保有尾数

魚種	年齢					(尾)
	0+	1+	2+	3+以上	不明	
ニジマス	0	0	0	0	－	0
ドナルドソン	16,300	286	167	136	－	16,889
サクラマス	7,370	250	50	45	－	7,715
ヒメマス	3,500	0	0	73	－	3,573
ニジサクラ	0	0	0	100	－	100
コイ	2,390	100	90	59	－	2,639
フナ*	0	350*	－	－	－	350
キンギョ(庄内金魚)	200	42*	－	－	－	242
ウケクチウグイ	0	0	0	9	－	9

*: フナとキンギョの年齢1+の尾数は2+以上のもの。

表2 2023年度末日(2024年3月31日現在)の、当研究所からの種苗・生産物の分譲尾数

魚種	規格・年齢					
	発眼卵(粒)	0+	1+	2+	3+以上	不明
ニジマス						
ドナルドソン	2,000	4,700			5	2,000
サクラマス		7,250	610			
ニジサクラ	16,300					16,300
ヒメマス		32,510	300	0	30	
コイ		75,000	9,550			
フナ		1,050*				
キンギョ	2,000	4,700*			5	2,000

*: フナとキンギョの規格・年齢1+の尾数は2+以上のもの。